

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【公表番号】特表2004-510640(P2004-510640A)

【公表日】平成16年4月8日(2004.4.8)

【年通号数】公開・登録公報2004-014

【出願番号】特願2001-575943(P2001-575943)

【国際特許分類】

B 6 5 D 81/24 (2006.01)

A 6 1 F 5/01 (2006.01)

B 6 5 D 33/16 (2006.01)

B 6 5 D 85/50 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 81/24 A

A 6 1 F 5/01 A

B 6 5 D 33/16

B 6 5 D 85/50 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月27日(2007.9.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 第1端、第2端および該第1端と該第2端との間に延在するパウチ長さ部分を備えるパウチであって、内部を画定するパウチと、

前記パウチの中で連続長を有する感湿性製品であって、前記パウチ長さ部分に沿って前記内部に配置される複数のセクションを備えたパッケージ構造に折畳まれ、それらセクションの各々が、少なくとも2つの折目とそれら折り目の間に広がって該パウチ長さ部分に沿って延在するセグメントとを有して構成される感湿性製品と、
を具備することを特徴とする装置。

【請求項2】 パウチの中に連続長の製品をパッケージする方法において、
連続長の感湿性製品を用意するステップと、

前記製品を、少なくとも2つの折目とそれら折り目の間に広がるセグメントとを少なくとも1つのセクションが有する複数の相互接続セクションを備えるパッケージ構造に、折畳むステップと、

第1端、第2端および該第1端と該第2端との間に延在するパウチ長さ部分を備え、前記セグメントが該パウチ長さ部分に沿って延在するように構成されるパウチの中に、前記複数のセクションを封入するステップと、
を含むことを特徴とする方法。

【請求項3】 連続長の製品を保管および分配する装置において、

連続長の感湿性製品を収容して保管するための内部を備えるとともに、第1端を備えるパウチと、

前記第1端に近接して前記パウチに結合されるようになっており、第1圧縮部材とその反対側の第2圧縮部材とを備え、それら圧縮部材が、該パウチの該第1端の形状を前記製品の形状に従わせるようになっている圧縮装置と、
を具備することを特徴とする装置。